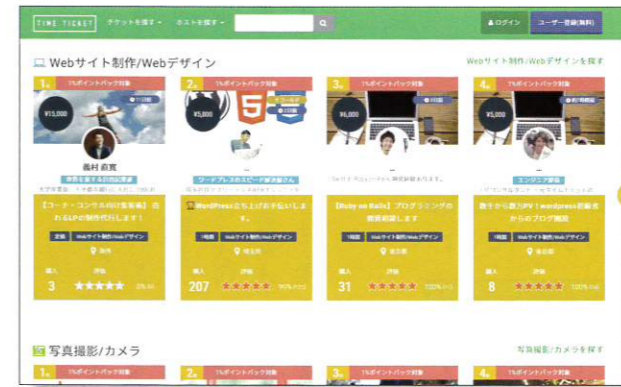


スキマ時間でできる「JOB」 経験や趣味を 副業にする人が増加 CtoCサービス

自分の培った経験や趣味を副業としている人が増えてきている。「～をやりたい」「～をやってほしい」という需要と供給がマッチしたとき、すぐに繋がることのできるCtoC(個人間取引)サービス。「趣味が仕事になった」「副業として始めたが本業の収入を超えた」など、これを機に副業を本業にする人も増え、CtoCに注目が集まっている。

TIME TICKET 自分のスキルが 必要とされる場所

「わたしの30分、売りははじめます。あなたの30分、買ってみます。」
TIME TICKETは、個人の時間を30分単位で売り買いできるシェアリングエコノミーサービス。このサービスでは、ホ



さまざまなジャンルから4万枚以上のチケットを販売

スト(販売者)が自らの時間をゲスト(購入者)にチケットとして販売することができ。チケットには時間、値段、その時間で何をしたいかを記載。例えば「WordPressの立ち上げをお手伝いします(1時間5000円)」「マッチングアプリ、SNS用の写真撮影(1時間8000円)」など。現在、会員登録数は約37万人、チケットはビジネス・コンサルティ
ングやIT・プログラミング、恋愛・婚活、フリーターといった20カテゴリーで4万枚以上が販売されている。
タイムチケットの各務正人代表取締役は「サービスを始めたいきっかけについて、誰かが努力して結果を出そうと思つたときに、それを押さえてくれた」と語っている。自分の好きなことや得意なことでも収入を得られて、それが将来的な夢やさらなるチャレンジに繋がるようなサービスを作りたいという思いでタイムチケットを始めました」と語る。
ホストの中には安定した収入が得られるようになり、これを本業にする人も増えてきた。コロナ禍で在宅ワークになった人、趣味の時間が減った人は多いだろう。そんなことや得意なことでも収入を得られて、それが将来的な夢やさらなるチャレンジに繋がるようなサービスを作りたいという思いでタイムチケットを始めました」と語る。

なスキマ時間に、スキルを身に付けたい人と好きなことや得意なことでも収入を得たい人が増えた結果、CtoCサービスの利用が増加してきたという。
「会社勤めで自分のスキルを披露する場がなかった方々が、タイムチケットで成功する光景を何度も見ました。コロナ禍になるとホストとゲストが徐々に増えていき、今では本業よりも稼いでいる人も多いです」
このようなCtoCサービスで成功する秘訣は実績と評価だ。タイムチケットではホストのページで、購入されたチケットの枚数やメッセージ既読率、平均返信時間、ゲストからの評価、レビューなどが閲覧できる仕組みになっている。また運転免許証や保険証、住民票などの提出でホストのページに「本人確認資料提出済マーク」が表示されるので、安心して取引できる相手ということもわかる。
「真剣に取り組む人がしっかりと評価されるような仕組みを作りました。他者からのレビューやコメントというのは、ホストやこれから購入を考えている人にとっても大切なものです。今後は評価軸を細かく定義

タスカジ 主婦はスキマ時間で 家事を仕事にする

してみなさんが適正な評価を受けてもらえるようにしていきたいです」

タスカジさんと呼ばれるハウスキーパーが個人依頼者と契約する家事代行サービス「タスカジ」。関東と関西で利用者が増えている。

1回の利用は一律3時間で、スポット依頼(単発)、定期依頼(月1回)から選べる。従来の家事代行サービスは、ハウスキーパーと依頼者の間に家事代行業者が介入するため依頼料が高くなるが、「タスカジ」はCtoCサービスのため1時間当たりに1500円(＋交通費)という業界最安値で受けられるサービスを実現した。



仕事や子どもの世話で忙しい家庭に人気のサービス

ハウスキーパーは面接、テスト、身分証確認・ビザ確認の3段階スクリーニングを行っており、損害を受けた場合の損害保険、サポートセンターもあるため、初めてでも安心して利用できる。
家事の内容は、掃除や洗濯から整理収納、料理の作り置き、ペットケア(※室内のみ)、チャイルドケア(※保護者同席)まで幅広く対応。特に普段の家事で手一杯な2人以上の子どもがいる家庭で人気なのは作り置きだ。食材と調味料、調理器具、保存容器があれば、その場でリクエストに合わせた料理を作ってくれる。
「タスカジ」では最寄り駅からハウスキーパー検索することができ、依頼したい家事などの条件に合った人を選ぶことができる。選んだハウスキーパーと直接やりとりができるため、細かい要望などができるところも人気だ。

Uber Eats 気軽に始められる フードデリバリーサービス

誰もが一度は耳にしたことがある、オンラインフードデリバリーサービス「Uber Eats」。2016年からサービスを開始し、国内の掲載店舗数は3万店舗以上、ユーザー数は約320万人に上る。
面接はないので、保温バッグの購入とス



スキマ時間に働きやすい職業といえる

マホ、自転車があれば始められるという手軽さから、スキマ時間に働く人が増えてきている。シフトもなければ、勤務時間も決まっていないので、仕事終わりの数時間、休日のランチ・ディナータイムだけなど、自分の好きな時間に数時間だけでも働ける。
収入は受け取り料金＋受け渡し料金＋距離料金の合計額が基本料金になる。これにプラスして、配達依頼が増える時間帯やエリアで発生する「ブースト」、休日や雨の日などの配達員が少なくなる日に発生する「特別クエスト」などをこなしてインセンティブを得ることで、もらえる収入が増えるという仕組みだ。給料の支払いが週単位というところも支持を得ている。
サービス開始当初は東京の一部のエリアのみだったが、現在は32都道府県(12月現在)までエリアを拡大している。対応エリアは現在も拡大しているので、配達員はこれから増えていくだろう。

「JOB」がレジャーの
ライバルに!?

